



# 京都 YWCA

# 11 2015

YWCAは、キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。

## 「多世代・多文化ふれあいコミュニティ」シリーズ公開講座 4

上智大学グリーンケア研究所 特任所長 高木 慶子さんを迎えて

# 「悲しみをこえて、希望への扉をひらくために」

9月23日、高木慶子さんを京都 YWCA にお迎えして公開講座を開催した。グレーの修道服に身を包んだ高木さんは、笑顔を湛えつつ、穏やかにではあるが毅然とした口調でお話を始められた。



講演される高木慶子さん

## すべての人に悲嘆は訪れる

グリーフ（悲嘆）とは、人が親しい人や大事なものを喪失したときに体験する複雑な反応を言います。パニック、敵意、怒りなどの激しい感情や、反対に孤独感、絶望感、無力感などの感情が襲ってきます。さらに身体をも直撃して、睡眠障害、食欲の減退、アルコール依存症、そして重篤な病気を引き起こします。

悲嘆とひと口に言っても様々なものがあります。愛する家族・友人との死別・離別や裏切り。健康の喪失。所有物の喪失（財産・住居・仕事・ペットなど）。環境の喪失（地域社会・故郷・学校・職場など）。公認されないものの喪失（公認されない関係者との死別や離別・流産・死産・自死遺族など）。自尊心の喪失。安心・安全の喪失（放射能汚染・大震災の予想など）。社会的な差別。何より年をとるといことは誰にとっても初めての経験で、必ずやって来る喪失体験です。つまり、すべての人が悲嘆者になり得るのです。

## 悲嘆を経験したあと、人は新しい世界を生きることができる

悲嘆の直後には悲しみや怒りといった感情が心のほとんどを占めて、他の感情はあるものの意識することはできません。しかし時間が経つにつれて希望・楽しさなど他の感情も心の中に存在していることに気が付きます。ほとんどの人は喪失の悲嘆から自ら回復していく力を持っています。喪失体験によって人間関係の親密さが増したり、同じ体験をした人への共感や思いやりが強くなります。また新たな関心、活動等、新しい進路を見出します。体験を乗り越えようと苦闘する中で人間としての強さも身につけます。特に家族や親しい友人を喪失した人はそれまでとは違う世界に生きているという思いが強くなります。つまり霊的（スピリチュアルな）世界を経験するのです。

この「スピリチュアリティ」は日本語で「いのち=良心」と言い換えたいと思います。私たちには悲しみを乗り越える力が備わっていますが、その力を生かすには他者からの支えと励ましが必要です。人間は完全な存在ではありません。最終的には人知を超えた大いなるものの力を借りて助けてもらわなければならないと感じます。どのような信仰でもいいのです。「神様、お願いします」と祈って求める、これがスピリチュアルケアです。そして「自分の悲嘆の経験を他の人のために生かしたい」という「人を思いやる心」が生まれれば希望への扉が開けるのです。

JR 西日本の事故の犠牲者や、震災で両親と妹を亡くした東北の少年など、ご自分が関わってこられた悲嘆者のことを紹介くださりながらのお話だった。最後にマーガレット・F・パワーズの詩「あしあと」を聞かせてくださった。人は悲しみを抱えてもそのマイナス感情をプラスのエネルギーに変えていくことができるというお話に生きる勇気をいただいた。

(小寺敬子)

## 伏見のふたつの顔を訪ねて～戦跡と酒蔵巡り～

今回の旅は、伏見のふたつの顔「戦跡」と「酒蔵の街」を巡る旅でした。遠くは東京からの参加者も一緒に伏見の町を回りました。「戦争遺跡に平和を学ぶ京都の会」の磯崎三郎さんの丁寧で準備周到な資料と地図を手に入れた京阪深草駅を出発。先の戦争と深く関わっていた伏見は、さまざまな軍事施設が置かれ「軍都」と呼ばれていたことを私も今回初めて知りました。特に「師団街道」は、当時のまま名前も残り、また、第一軍道から第三軍道という道も現存し、数多くの戦争遺跡を見ることができました。

ここでいう「師団」とは、大日本帝国陸軍第16師団のこと。日清戦争から日露戦争にかけて、帝国陸軍は軍備の拡張を図っており、そのうちの第16師団下の第36歩兵連隊をはじめとする多くの兵隊が、1908年（明治41年）11月16日、京都深草の地にやってきたということでした。特に現在もその姿を見ることができるのが、第二軍道と奈良街道の交わるところに佇む赤レンガの聖母女学院。当時は、陸軍の権威の証として、元師団司令部として、随所に意匠の凝らされた立派な建造物を作ったということです。今では龍谷大学をはじめとして、聖母女学院、京都教育大学、教育大学付属高校、そのほかにも小学校や中学校が散在する京都随一とも言える「文教地区」が当時は軍都だったという事実は、大きな驚きでした。地元の中学校を卒業した参加者の方でさえ、誰も学校ではそんなことを教えてくれなかったと呟いておられました。

学校では教えられなかった歴史を次世代に語り継ぐことこそ、YWCAの使命の中で大切にしてきたことです。福島から移住された方が運営する「みんなのカフェ」で美味しい昼食を頂き、未来の希望である若い人たちのために、この美しい街が二度と戦争の流れに巻き込まれることのないようにしなければ、と改めて強く思う旅となりました。

（齋藤佳津子）



聖母女学院の前で

## 京都YWCAチャリティーコンサート 魅惑のアルゼンチンタンゴ ～アストロリコ四重奏&ダンス～へのお誘い

京都YWCAでは現在進めている「多世代・多文化ふれあいコミュニティづくり」事業へのご支援を募るため、来年1月30日に、アルゼンチンタンゴ・アンサンブル「アストロリコ」とタンゴダンスペア「亮&葉月」によるチャリティーコンサートを開催します。

アストロリコは日本を代表するアルゼンチンタンゴ・アンサンブルであり、京都YWCA90周年チャリティーコンサートでも公演いただき、大好評を博しました。今回は新たにタンゴダンスも加わり、迫力のあるパフォーマンスを私達に届けてくださいます。

京都YWCAは2014年に大規模改修を行い、3つの新事業と従来事業を通して、女性や子どもの人権が守られ、異なる文化や背景をもつ人々と「共に生きる」社会をめざしています。

コンサートの収益は本事業に充てられます。本事業を未来につなげていくためにも、多くの方のお越しをお待ちしております。

アーティスト詳細はアストロリコのウェブページをご覧ください。→ <http://www.astrorico.com/index-j.html>



### <チャリティーコンサート詳細>

■日 時：2016年1月30日（土） 13：30 開場 14：00 開演

■場 所：同志社大学寒梅館ハーディーホール

■参加費：大人 前売 3,500円（当日 4,000円）、学生 3,000円、小学生 2,000円

■主 催：公益財団法人京都YWCA

チケットの購入は、電話、メール、ファックスにて京都YWCA事務所にお申し込みください。

# 子育てお話し会

「現代の子育て」を共に考える

親・子育て支援活動委員会主催の0才～就園前までの子どもを持つ親子を対象とした「ここから」シリーズの一つ「子育てお話し会」は、今年4年目を迎え9月から3回シリーズで始まりました。「子育てお話し会」の内容は、子育てのノウハウを学ぶのではなく、思想家ルドルフ・シュタイナーの「人間観」をもとに、「3歳児までの子どもがどのような存在であるか」などを講師の松川先生にわかりやすくお話をさせていただき、それをもとに参加者が自分の思いや日頃の子育ての悩みなどを語り合う会です。子育てをしていて、どうしたらよいかわからなくなったり、イライラして感情に流されそうになったときなどにこの会で学んだことが何かの役に立てばと思っています。参加されたお母さんからいただいた感想をご紹介します。

長男が2歳の時から4年ほど、「子育てお話し会」の講師である松川さんのお話を伺う機会に恵まれ、子どもと私自身の育ちは大きく深い影響を受けました。

「子育てお話し会」で聞くお話は、他の子育て講演会などのように親の耳に心地良いものではなく、毎回大きな課題を突きつけられ、自らの親としての未熟さを痛感させられます。

最近、情報ばかりが多く、子育ての方法論があふれ、親は出来上がっているものを疑うこともせず子どもに与えてしまっているように感じます。私自身も迷い流されそうな時が多々ありますが、そのたびに、松川さんのお話を思い出して我に返っています。物事の本質を捉え、自分の頭で考えること、誰かに与えてもらうのではなく、自らの理念と家庭の文化を持ち、それを形にして子どもに伝えていくことの大切さ、いつもおっしゃる自己教育という言葉。そして厳しいお言葉の中にすべての子どもたちへの深い畏敬の念が込められていることを感じます。

この会を通して、日々子どもたちとのささやかな時間をゆっくりと紡いでいく喜びを与えられて感謝です。

(紀國 愛)



## シリーズ ～京都 YWCA 多世代・多文化ふれあいコミュニティづくり～

### サービス付き高齢者向け住宅～サラーム～ 事業開始から1年を迎えて

## サラーム

2014年9月にスタートしたサービス付き高齢者向け住宅「サラーム」は、今年1月には満室(8室)になり、事業開始から無事1年を迎えることができました。

サービス付き高齢者向け住宅は介護施設ではなく住居です。サラームが提供するの毎日安否確認と24時間の緊急対応、日々の生活相談に加え、火曜日から土曜日までの昼食の提供です。その他に季節ごとに入居者の方々とご家族、ご友人、YWCA 会員との交流会を行っています。春は御所の桜、夏は中庭で花火を楽しみました。京都 YWCA には語学クラスやさまざまな講座・イベントがあり、入居者の中には英会話を受講されたり、講演会やコンサートに参加される方もおられます。うららかふえの昼食も人気です。配食は食べられなくても、うららかふえのランチは是非食べたいとってくださる方や、嚥下機能が回復したら、うららかふえのランチを食べるのが楽しみとってくださる方もあります。

事業を始めるにあたり上京区介護予防推進センターに協力をお願いし、センター主催の介護予防クラスを4月

よりスタートしました。入居者の方だけでなく地域の高齢者の方々も含め、毎回約30名が参加されています。

#### それぞれのライフスタイルを大切に

サラームのユニークな点は、サービスを提供するだけでなく、入居者の方が自ら企画し活動されている点です。例えば昨年のクリスマスは、入居者が企画され、職員や会員が招かれて皆さんと楽しいひと時を過ごしました。また、サラームのリビングで手作りされ、年2回のバザーにエプロンやクッションなどを出店して下さったり、うららかふえでお料理を提供している方もおられます。

YWCA の会員や地域の方との交流やボランティアへの参加などを通して、お一人おひとりがそれぞれのライフスタイルを大切に過ごしていただきたいと思っています。

サービス提供だけでなく、ご家族や外部の介護事業所、医療機関などの協力を得つつ、互いが支えあい、与え合う関係が築ける場としていきたいと思っています。

# 今後のプログラム

## ◎ YM/YW合同企画プログラム

- 日 時：2015年11月21日(土) 18:30～21:00
- 場 所：京都 YMCA マナホール
- 参加費：500円、学生300円(軽食付き)
- テーマ：「希望あれ！」～知っていますか？社会的養護の子どもたちの「18歳の壁」～
- 講 演：阪野学(大阪成蹊大学教員)、カルーナからの発題

## ◎ 広河隆一写真展「パレスチナの子どもたち from1968」

- 日 時：2015年11月25日(水)～28日(土)11:00～16:00
- 入場料：無料
- 場 所：京都 YWCA うららかふえ
- 主 催：京都 YWCA 平和委員会ブクラ

## ◎ クリスマスバザール～共に生きる世界を～

- 日 時：2015年12月5日(土) 10:00～15:00
- 場 所：京都 YWCA
- 入場料：100円(東日本大震災被災者支援活動に寄付)
- 主 催：京都 YWCA バザー実行委員会

## ◎ 冬休みキッズデイアウト inガジュマルの樹

- 日 時：2015年12月24日(木)・25日(金)・26日(土) 10:00～17:00
- 対 象：小学生
- 参加費：3日間参加6,000円、1日参加2,300円
- 申 込：要 メールまたはFAXにて
- 主 催：京都 YWCA ガジュマルの樹運営委員会

## ご寄付ありがとうございました。

2015年8月1日から9月30日  
寄付者一覧(敬称略、順不同)

### 一般寄付

花岡正義、(株)田中工務店、ブイトハン、  
中村和雄、吉谷節子、高橋正子、  
大西澄子

### 各指定寄付

#### \*日韓ユースプログラム

権萌夕子、坪野えり子、吉村千恵

#### \*多世代・多文化ふれあいコミュニティー 事業にむけた改修募金

森律子、別所加恵、坪野えり子

#### \*福島プロジェクト

安藤いづみ、岡佑里子、  
福島移住女性支援ネットワーク、  
近野玲子

#### \*親・子育て支援委員会

別所加恵、上田理恵子、  
近野玲子(親子ライブラリーへ)  
親子ライブラリー有志

#### \*APT

安藤いづみ、高山享、仲本直子、  
滋賀県青年海外協力協会、土方裕子、  
神門佐千子

#### \*国際委員会

宮武美知子(にほんご教室洛楽)

#### \*平和委員会

ブクラ有志(ブクラ)

#### \*ショップ委員会

ショップ委員会有志

#### \*チャリティーイベント企画委員会

宮武美知子

#### \*ふれあい食堂「うららかふえ」運営 委員会

宮武美知子

#### \*ガジュマルの樹運営委員会

匿名、ガジュマルの樹運営委員会有志

#### \*自立援助ホーム カルーナ

伊部恭子、有田孝子、臼井一美、  
都木かおり、上田理恵子、神門佐千子、  
坪野えり子、小寺麻衣子、伊原千晶、  
イエニックふたみ、手島千景

#### \*あじさい寮

ブイトハン

#### \*賛助費

森明子、田中愛子、中地重晴、  
半田淳子、出店都、高市和久、  
大岸素子、(株)田中工務店、匿名

## サタデーブニング シネマカフェ開催!

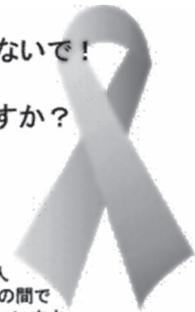
8月22日土曜の夕べ、昼間はカフェを営業するスペースで、みんなで映画を鑑賞する京都YWCA「シネマカフェ」を開催しました(鑑賞無料)。

上映された映画は2005年公開の「二人日和」。京都の四季を背景に夫婦の日常を抒情豊かに描いた映画でした。来年1月にチャリティーコンサートを予定しているタンゴアンサンブル「アストロリコ」が音楽を担当。

参加者はドリンクや軽食を味わいながら、ヴォーリズ設計の心地よい空間の中、ゆったりとした雰囲気の中で映画を楽しみました。

ひとりで悩まないで!

知っていますか?  
DVのこと



DVとは、夫婦や恋人などの、親しい男女の間で起こる暴力のことをいいます。

京都府では、被害者が安心して相談できる環境づくりと、DVを許さない社会づくりを進めています。

京都府府民生活部男女共同参画課  
TEL 075-414-4291

<http://www.pref.kyoto.jp/josei/dv13.html>

## 9・10月/理事会報告

- 「あじさい寮」留学生13名が入居(9月)  
防災&生活オリエンテーション実施、全員に「すけっと」をマッチング。
- 「うららかふえ」開店1周年記念週間実施。(アンケートを実施)
- 全館避難訓練実施(消火器・AED使用練習含む)
- 2015年度の「1/2期決算と年度末見込み」協議。
- 次年度以降の各部・委員会による事業の検討、協議を開始。
- 他団体協力 賛同：「きょうとわたちのレッドアクション」  
後援：矯風会講演会 10/31(土)13:30「ステップハウスを運営して」  
協力：京都YMCA主催「アジアの若者が語る夢と出会い」(11/13)  
後援：日本聖公会(女性に関する課題の担当者)「ストップ!女性や子どもへの暴力一子ども、児童ポルノなどの問題から考える」11/7(土)13:30

## KYOTO YWCA No.529

2015年11月号(11月1日発行)

発行人 上村愈巳子

発行所 公益財団法人京都YWCA

京都市上京区室町通出水上ル

電話 (075)431-0351 FAX (075)431-0352

e-mail office@kyoto.ywca.or.jp

URL http://kyoto.ywca.or.jp

郵便振替 01080-9-1566

口座名義 (公財)京都YWCA

定価 50円